

地区だより

発行：
まちづくり推進協議会
(事務局：須々万支所)
TEL 88-0001
昭和61年8月5日

第12号

◎「ふれあいの森」整備計画（案）
1.ねらい
森を訪ねる多くの市民が、森林に親しみ、ふ
れあいの中から森業を理解するとともに、森を
育て、自然を愛する心を養うことができるよう、
市民手づくりの森として整備する。

市制50周年・合併20周年記念事業			
事業名	期日、場所	内 容	
1. 第26回市民運動会	60.10.20 沼 小	優勝～城角部団	
2. 産業文化祭	11.9 旧沼小グランドほか	農林、商工物産展、学校文化展ほか 協賛～オリエンテーリング・ゲートボール大会	
3. (前夜祭) 第3回カラオケ大会	11.9 沼小体育館	優勝～樋井部団	
4. ふれあい音楽祭	11.9 //	県管弦楽隊来演	
5. 須々万の歌発表会	11.9 //	8月～歌詩募集 9月選考会 10月～作曲	
6. タイムカプセル埋設	11.10 沼小グランド	築山造式 2005年開封 参加者1100人	
7. ふれあいの森幹線道路開通式	11.10 現 地	友森教育長、渡辺会長ほか	
8. 北部地区ミニユーティ交流集会	61.11.11 参集殿	小川市長講演 4地区より100名参加	
9. ふれあいの森下刈り作業	3.30 現 地	各自治会より参加 総数260余名	

◎昭和60年度事業概要報告

60年度は、市制施行50周年、徳山市合併20周年の節目の年となり、まちづくり推進協議会が中心となって諸事業を行った。特に21世紀に夢を託した「タイムカプセル」の埋設、節目を記念した「須々万の歌」発表、そして「ふれあいの森」は、須々万地区のまちづくりにとって極めて意義のある事業となつた。また、北部4地区が一堂に会した「コミュニティ交流集会」は都濃町の往時を偲ぶとともに

61年度の主な活動計画

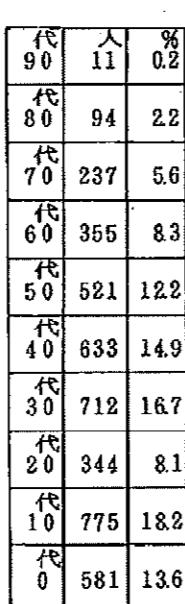
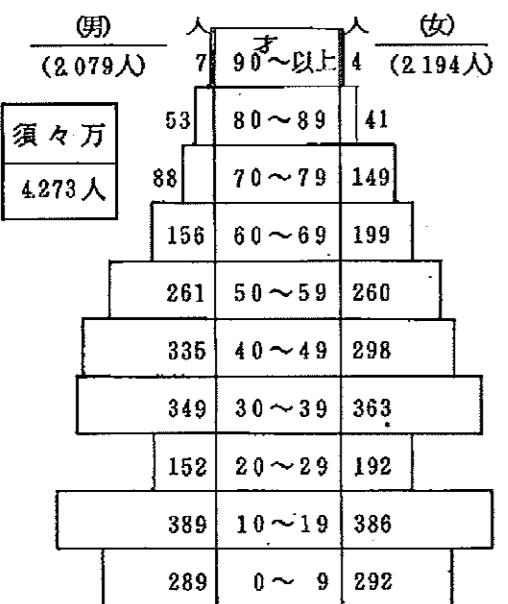
地域振興部会	◎青少年健全育成～家庭の日の充実 毎月第3日曜日には家族全員で夕食を ○交通安全の推進、クリーン作戦の推進
生活環境部会	◎河川愛護運動～川をきれいにしましょう。 螢や、魚の住む環境づくりをすすめる。 ○宅地開発の指導、排水事業の推進
施設整備部会	◎「ふれあいの森」の整備と活用 みんなの手で森を育てよう ○中学校体育館の建設促進
地域福祉部会	◎福祉のネットワークづくり お年寄りや、子供達に声をかけよう ○ふれあいの会、愛の葉書運動

り組むこととする。
そこで、本年度は、ふるさと須々万を愛する
人づくりを目標に、ふれあいを深め、まちづく
りの気運醸成をはかることを重点課題として取

り組むこととする。
こうした状況を踏まえ、本年度は進展する地
区の将来を展望した、いわゆる「21世紀の須々
万」を構想するとともに、これを実現するため
の条件整備、体制づくりが必要となる。

幸い当地区住民の年令構成は、北部他地区と
比較して若く（10代～18%・20代～9%・30代～
17%・44%）活力に溢れている。

そこで、本年度は、ふるさと須々万を愛する
人づくりを目標に、ふれあいを深め、まちづく
りの気運醸成をはかることを重点課題として取



※民間団体 ②市と民間団体 ③市で実施する事業

整 備 計 画

内訳年度	基盤整備事業	林内整備事業	施設整備事業	3. 實施団体
				・総括～須々万地区まちづくり推進協議会 ・自治会、子供会（スポーツ少年団）、育友会、老人クラブ、青年団、その他 ・徳山市、森林組合、ほか林業団体
60	1.幹線道の開設①～L850m (60.10完成)	1.林内の下刈り② 老人クラブ 11/8 自治会 3/30	1.着板の取付③～2ヶ所 2.記念植樹④～11/10 桜20本	
61	2.小鳥の森（巣箱）⑤～育友会 82ヶ		※ふれあいの森運動公園～61.3完成	
62	1.駐車場⑥～南側入口 1,000m ² 2.散策道の整備⑦～林内 2,000m ² 6.4 年指定）と関連実施	1.樹種標識⑧～樹種 約100種 2.桜の森⑨～運動公園に隣接 3.林内下刈り、小鳥巣箱⑩	1.用水施設⑪～運動公園との関連施設 2.山小屋、休憩施設⑫～間伐材利用 3.キャンプ場⑬～利用団体 1.山小屋、休憩施設、キャンプ場～（継続） 2.林内下刈り整備、小鳥巣箱～（継続） ※新林構造改善事業（61.1～2005年）と関連整備	

※ ①～民間団体 ②～市と民間団体 ③～市で実施する事業

2. 計画期間
昭和60年度～昭和64年度の5ヶ年間とする。

// 須々万地区まちづくり
推進協議会開催 //

去る5月29日（木）午後8時から、「須々万地区まちづくり推進協議会総会」が須々万支所で開催されました。議事は次のとおりです。

- (1) 昭和60年度事業報告並びに収支決算承認について
- (2) 昭和61年度事業計画並びに収支予算案についての概要を掲載いたします。
- (3) ふれあいの森整備計画について

また、「徳山北ふれあいの森運動公園」や部会の構成などについても話し合われました。次にその概要を掲載いたします。

方を探る上で大いに参考となつた。

これら一連の記念事業に要した費用は、地区を挙げての芳志によるもので「自分たちのまちは、自分たちの手で」を理念とするまちづくりについて

運動が定着し、その結集がふれあいの森下刈り作業に総勢260人を超える奉仕の姿であったとされるさとづくりに向って、一層の前進を続けることを祈念するものである。

このように、記念事業を中心に展開した須々万地区のまちづくり運動が、豊かで住みよいふるさとづくりに向って、一層の前進を続けることを祈念するものである。

◎昭和61年度事業計画概要

昨年は、市制施行50周年・合併20周年を記念した諸事業を中心に多彩な催しが展り開げられ、これらの多くを主催した本協議会にとっては、コミニティ活動の一つの節目として記念すべき年となつた。

一方、地域内においては、懸案であった中学校の建設用地が造成され、62年開校の見通しとなり、また都農協も東駿木原に新築移転され、北部の拠点農協として整備、充実されるとともに、農業集落排水事業も5ヶ年計画の第一歩を踏み出すなど、地区の社会・経済地図は大きく変ろうとしている。

幸い当地区住民の年令構成は、北部他地区と比べて若く（10代～18%・20代～9%・30代～17%・44%）活力に溢れている。

こうした状況を踏まえ、本年度は進展する地区的将来を展望した、いわゆる「21世紀の須々万」を構想するとともに、これを実現するための条件整備、体制づくりが必要となる。

そこで、本年度は、ふるさと須々万を愛する人づくりを目標に、ふれあいを深め、まちづくりの気運醸成をはかることを重点課題として取り組むこととする。